

2014年8月号

8月15日(金)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 215



虫天国？ 釧路湿原

刺す虫、噛む虫、触ったらかぶれる虫…。虫と聞くと嫌なイメージが多いかもしれませんが、よく見るととてもきれいな虫もいます。花の蜜を吸うチョウ、縄張り争いをするトンボ、青く輝くカミキリムシ。

夏本番を迎えた温根内木道周辺はまさに虫天国。その虫を餌に秋の渡りの準備をしている夏鳥たちにとっても、ここは天国かもしれませんね。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の植物～



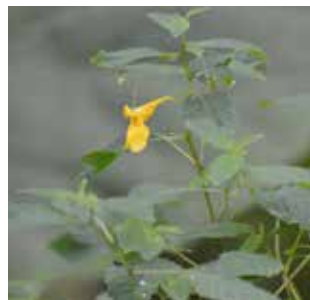
【サワギキョウ】
 キキョウ科 沢桔梗
 夏から秋にかけてヨシ・スゲ湿原で大きな青い花を咲かせて見事な群落を見せてくれます。9月上旬まで楽しむことができます。



【ミソソバ】
 タデ科 溝蕎麦
 木道沿いや鶴居軌道跡の湿った場所で小さな淡いピンク色の花を咲かせています。葉が牛の顔の形に似ているので「ウシヒタイ」とも呼ばれます。



【ナガボノシロワレモコウ】
 バラ科 長穂白吾亦紅
 ミズゴケ湿原や、その周辺の比較的乾いた湿原内で見られます。花をよく見ると小さな花がたくさん集まって咲いていることが分かります。



【キツリフネ】
 ツリフネソウ科 黄釣舟
 鶴居軌道等の薄暗い湿った場所で見られます。花の形も個性的ですが、棍棒状の細長い実は熟すと弾けて種を遠くへ飛ばします。



【チドリケマン】
 ケシ科 千鳥華鬘
 VC裏の森の縁で黄色い花を咲かせています。環境省版RDBではⅡ類(VU:絶滅の危機が増大している種)にランクされています。



【ツリガネニンジン】
 キキョウ科 釣鐘人參
 鶴居軌道跡の日当たりの良い場所で見られます。青く、釣鐘のような可愛い花は輪生し、訪れる人の目を楽しませてくれます。

○表紙の写真 上:キアゲハ 中右:トンボを丸のみするノビタキの幼鳥 中左:ヒメシジミ 下:ハンノアオカミキリ

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

湿原では野鳥たちのさえずりが消え、見つける事が難しくなってきました。それでもよ～く探すと今年生まれの幼鳥がたくさん飛び回っているのに気がきます。秋の渡りに備え、虫をたっぴりと食べて栄養を蓄えている様子を観察できます。ビジターセンターでは無料で双眼鏡を貸し出ししています。お気軽にご利用ください。



【ノビタキ（幼鳥）】

ヒタキ科 野鶺 夏鳥
今年生まれの幼鳥もすいぶん飛ぶのがうまくなりました。秋の渡りに向けて、せっせと虫を採り、栄養を蓄えている姿が見られます。



【オオジュリン（幼鳥）】

ホオジロ科 大寿林 夏鳥
やぶの中にいることが多いのでノビタキよりも見る機会は少ないですが、よく探すと数羽で餌を採っている姿を見付けることができます。



【コサメビタキ】

ヒタキ科 小鯨鶺 夏鳥
色が地味で声もか細いのでよく探さないと見つかりませんが、クリクリとした大きな目が特徴で、鶴居軌道跡やハンノキ林内で見られます。



【クイナ】

クイナ科 水鶺 秧鶺 夏鳥
普段は湿原のやぶの中で生活しているのでめったに見ることはできませんが、「キューイ、キューイ」と鳴いている声でその存在に気づきます。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（7月15日～8月14日）※和名は五十音順

■アカネムグラ■アキカラマツ■アキノウナギツカミ■イケマ■イチゲフウロ■イヌタデ■イワアカバナ■ウド■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾシロネ■エソトリカブト■エゾナミキ■エゾノカワチシャ■エゾノコギリソウ■エゾノシモツケソウ■エゾノヨロイグサ■エゾノレンリソウ■オオウバユリ■オオカサモチ■オオダイコンソウ■オオバコ■オオバセンキュウ■オオバナヤエムグラ■オトギリソウ■オニノヤガラ■カタバミ■ガマ■カラフトノダイオウ■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クサフジ■クサレダマ■クマバナ■クマユリ■クロバナロウゲ■コウゾリナ■ゴキツル■コタヌキモ■コハコベ■コメツブツメクサ■サワギキョウ■シオガマガク■シナノキ（木本）■シロツメクサ■セイヨウタンポポ■セイヨウノゴギリソウ■タチギボウシ■タヌキモ■チシマアザミ■チドリケマン■ツメクサ■ツリガネニンジン■ツリフネソウ■トキソウ■ドクゼリ■トモエソウ■ノハラムラサキ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメカイウ■ヒメジョオン■ヒヨドリバナ■ヒルガオ■ヘラバヒメジョオン■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバナヨツバムグラ■マツヨイセンノウ■ミズ■ミゾソバ■ミツバ■ミツバフウロ■ミツモトソウ■ミミコウモリ■ムラサキツメクサ■メマツヨイグサ■モウセンゴケ■ヤナギトラノオ■ヤブジラミ■ヤブハギ■ヤブマメ■ヤマハギ（木本）■ヤマハハコ■ヨブスマソウ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（7月15日～8月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ■キジバト■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ■ハリオアマツバメ■トビ■オジロワシ■ハイタカ■アリスイ■コゲラ■アカゲラ■ヤマゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■シマセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■アカハラ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■オオルリ■カワラヒワ■ベニマシコ■イカル■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺に咲いている花を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆☆



○「ホタルウィーク」7月24日、25日、27日 参加者数：188名（3日間合計）
5日間の日程で開催する予定でしたが、今年は天候に恵まれず、期間中2日間が雨のため中止となってしまいました。開催日にはホタルについてのレクチャーをビジターセンターで受けた後、暗くなりはじめた木道を歩き、ヘイケボタルの光が見え始めると参加者からは歓声が上がリ、みなさん思い思いに釧路湿原の「ホタル狩り」を楽しみました。（講師：杉山伸一、若山公一）



○「夏の湿原花ハイク」8月3日（日）参加者数：4名
釧路湿原パークボランティアの若山氏の案内で、夏の温根内木道の花を楽しみました。途中ではよく似ているドクゼリとトウヌマゼリの見分け方や、日本人にとって昔から身近な植物であったガマのはなし、咲き始めたサワギキョウの話など、夏の湿原ならではの話を聞きました。ミスゴケ湿原展望テラスでは、見ごろを迎えたとても目立たないモウセンゴケの花を夢中で探すなど、参加者は夏の湿原を満喫したようでした。

☆☆☆☆☆☆イベントのご案内（9月）☆☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申込み ☎ 0154-65-2323

- ・初秋の湿原花ハイク、トンボのふしぎ：10：00～12：00（定員15名）：要申し込み
- ・無料ガイドウォーク：10時～、14時～（1日2回開催、定員10名、申込不要、定員になり次第締め切り）
- ・PV 定点解説：釧路湿原パークボランティアが木道の数か所で定点解説を行います。申込不要、定員無し

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----------------|-----------------|-----------|----|----|----|-----------------|
| | 1 | 2 休館日 | 3 | 4 | 5 | 6 トンボのふしぎ |
| 7 初秋の湿原花ハイク | 8 | 9 休館日 | 10 | 11 | 12 | 13 無料ガイドウォーク |
| 14 無料ガイドウォーク | 15 無料ガイドウォーク | 16 休館日 | 17 | 18 | 19 | 20 PV 定点解説 |
| 21 無料ガイドウォーク | 22 | 23 休館日 | 24 | 25 | 26 | 27 無料ガイドウォーク |
| 28 無料ガイドウォーク | 29 | 30 休館日 | | | | |

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪針灸写真講座

〔日時〕9月6日（土）10：00～12：00 〔定員〕8名（小学生は保護者同伴）
〔参加費〕500円（材料費） 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～スズメバチにご注意を！～



8月から9月はスズメバチが活発に活動する時期です。木道を歩く際には黒い服装をできるだけ避け、匂いの強い香水も控えるようお願いいたします。

月刊 温根内通信 No.215

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター
〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185
E-mail：ovc@hokkai.or.jp
ホームページ：http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/

Facebook：https://www.facebook.com/Onnenai.VC

開館時間：10:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料